

評価問題例

【評価問題1】

「菊の香や奈良には古き仏たち」

この俳句の鑑賞文を、下の条件に従って書きなさい。

[条件1] 150字以上、200字以下

[条件2] 「どのような菊か」「どのような仏か」を鑑賞文に入れ、その理由も書きなさい。

【評価問題2】

「閑かさや岩にしみ入る蝉の声」

この俳句の「蝉」は、今から流す蝉の声のどれだと思えますか。どの蝉の声かと、その理由を、下の条件に従って書きなさい。

[条件1] 150字以上、200字以下

[条件2] 俳句の言葉に着目して、俳句の言葉と関連づけて書く。

評価問題のポイント

- どちらの問題も思うままにただ書くのではなく、字数や根拠などの条件に従って書くことで書く能力の育成を図る。
- 【評価問題1】については、自分が感じ、自分で決めた解釈について、根拠を明らかにして書く力を育成する。
- 【評価問題2】については、自分が感じ、自分が決めた解釈について、書かれている言葉に着目して書く力を育成する。
- 授業で他者の意見を聞いて考えを一層深めたり、表現を工夫したりしたことが生かされる場面として評価する。